

平成 28 年度

公益社団法人 地盤工学会
第 1 回 会員・支部部会
議事録

日 時：平成 28 年 5 月 13 日（金） 15：30～17：30		会 場：地盤工学会 3 階会議室	
理 事 会 員・支 部 部 長 佐 藤 研 一 ○			
理 事 田 中 耕 太 郎 (会 員・支 部 担 当)	○	理 事 田 中 真 弓 (男 女 共 同 参 画・ダ イ ナ ミ ュ ム (委) 委 員 長)	○
部 員 石 川 敬 祐 (継 続 教 育 シ ス テ ム 委 員 会 委 員 長)	○	部 員 須 賀 幸 一 (支 部 活 動 情 報 の 収 集 配 信 W G リ ー ダ ー)	○
部 員 石 井 裕 泰 (学 会 B C P 検 討 W G リ ー ダ ー)	○	部 員 遠 藤 一 郎 (支 部 活 動 情 報 の 収 集 配 信 W G サ プ リ ー ダ ー)	○
部 員 渡 邊 康 司 (技 術 普 及 委 員 会 委 員 長)	○	理 事・副 会 長 古 屋 弘	○
事 務 局：伊 佐 治 ○ 廣 松 ×			

○：出席 ×：欠席 △：未定

◎本日の議事録作成担当者（田中 耕太郎）

議 題：

1. 前回議事録の確認（2016 年 2 月 26 日開催） 資料－1 pp. ～
✓ 了承された。
2. 理事会報告（2016 年 3 月，4 月開催） 資料－2 pp. ～
✓ 了承された。
3. 理事会からの検討依頼
 - 2) 来年度の会員・支部部の活動について 資料－3 pp. ～
✓ 中村理事より『定款 第 9 条』の“賛助会員”の定義について質問があった。これについては、現状は“賛助会員”として登録されている会員がいないこともあり、現状でははっきりしない。明確にする必要がある。ちなみに、北海道支部や東北支部には、“協賛会員”という支部独自の制度を有している。
 - 3) 当部所管事業の実行化について 資料－4 pp. ～
✓ 佐藤部長より以下の意見が出された（部長退任の機に申し送りとして）。
 - イ) メリットが見いだせないとの理由で“特別会員”の退会が散見されるが、何らかの対策が必要ではないか。
 - ロ) 予算の制約で評議委員会の開催が少ない支部があり、活性化が必要ではないか。
 - ハ) 本部支部連絡協議会も年一回 1. 5 時間の開催のみである。見直しが必要ではないか。
 - ニ) BCPについても見えるようにしたほうが良いのではないか。
 - ホ) 地盤品質判定士は、支部によってはまだまだ浸透していないようである。特に地方支部に対して資格のメリットを伝えてほしい。
 - ✓ 石川委員長より、G-CPDに関して、特別会員は社内研修で利用できることをもっと周知して欲しい。活性化は、学会の収益向上にも寄与するとの意見が出された。
⇒（石川委員長）同感である。
（伊佐治氏）例えば、月二回のメールニュースに入れる、あるいは、会員・支部部のニュースに入れる等の方策が考えられる。
 - ✓ 中村理事より、特別会員／プレミアム会員／名誉会員の変遷について説明があった。
 - イ) 名誉会員は6月認定であるが、会費振込は4月であるため、その年は支払うことになってしまう。これについては表彰委員会に諮る必要がある。
 - ロ) 名誉会員（現在120名）の特典も変遷しており、名誉会員になった時点で特典を行使するかどうか、確認する必要がある。
 - ハ) 現在の会員データベースは、複雑な変更に対応できていない。手で一つ一つチェックする必要があるやむを得ないが、一度、期限を区切って（例えばある年度以降）の会員データの棚卸が必要である。
⇒事務局 伊佐治氏に、正常化の方策を考案し、次回の部会で報告してもらうこととした。
 - ニ) 夏ごろには、会員データベースの問題点を整理してはっきりすることとした。

4. 所管委員会関連

1) 地盤品質判定士

別添資料

- ✓ 中村理事より、現状について説明された。以下の意見が出された。
 - イ) 受験者が1000名程度以内と収支が成り立たない。受験料を値上げの予定である。
 - ロ) 資格は認知されつつあるが、公的資格化が困難であるため、社会的な位置付けがないのが実情である（民間資格の限界）。
 - ハ) 建築士との棲み分けが難しく、地盤工学会が本資格を設けた主旨と受験者増に向けての主旨にずれがある。現状では、地盤工学会でフォローしていくしかない。更なるPRが必要。
 - ニ) 本資格は戸建てのための資格である。
 - ホ) 収益改善のため、図書を作成する予定である。

2) 技術普及委員会

- ・平成28年度の講習会計画

資料-5 pp.

- ✓ 渡邊委員長より以下の報告があった。
 - イ) 年度初めからの開催は困難であったが、例年より早めの開催を実現している。
 - ロ) 昨年度の収益はプラス500万円。今年度は更に上積みを目指す。

3) 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

資料-6 pp. ~

- ・世代間交流座談会へのご協力をお願い

- ✓ 田中真弓理事より、企画の紹介とアンケートへの協力依頼の要請があった。

4) 継続教育システム委員会

- ・地盤工学会の活動分類とCPD単位の見直し

資料-7 pp. ~

- ✓ 石川委員長より、学会誌購読によるポイント付与について説明があった。

5) 会員データベース管理システム改善WG

6) 支部活動情報の収集配信WG

- ・支部との意見交換

資料-8 pp. ~

- ✓ 佐藤部長より、支部からの意見として『HPの管理は本部で一括して行っており、支部関連情報更新の動きがとて鈍い』との意見があった。これに対し、石井WGリーダーより、HPのアップに関しては、広報委員会への依頼と承認手続きが必要になることを念頭に、密な連携が必要 との指摘があった。

7) 学会BCP検討WG

5. 会員処理

- ✓ 了承された。

6. 新入会、ダイバーシティ制度申請

資料-9 pp. ~

- ✓ 了承された。

7. その他

1) プレミアム会員の申請

資料-10 pp. ~

2) 平成28年度「本部・支部連絡協議会」の開催

資料-11 pp. ~

- ✓ 了承された。

8. 平成28年度の体制

- ✓ 了承された。

9. 次回以降の部会等開催日程

- ✓ 7月22日15:30とする ⇒ 7月21日 16:00 に変更

以上